

小海中だより

2022. 4. 16
NO. 1

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



39名の新入生を迎えて、令和4年度がスタートしました。
学校長の式辞です。

桜の咲く春の訪れの予感とともに、新たな希望に心が躍る今日の佳き日を迎えることができました。

この度は、黒澤小海町長様、井出北相木村長様、中島南相木村長様をはじめ、3町村の教育長の皆様、職務代理様、松井PTA会長様のご臨席を賜り、令和四年度 組合立小海中学校の入学式・始業式を挙行できますことを、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

39名の新入生の皆さん、小海中学校へのご入学、おめでとうございます。

皆さん、今どんな気持ちですか。制服に身を包み、少し大人になった気持ちや、これから始まる3年間の中学校生活を想像して、楽しみだな、不安だな、よしやるぞ…と、いろいろな気持ちが入り交じっていることでしょう。中学校は、自分の未来に向かっていろいろな可能性を探る場であり、社会の中でよりよく生きていけるようになるために力をつけるところです。その力とは、考える力、判断する力、表現する力、人と関わる力などのことです。この力は誰かに与えられるものではなく、自分で身につけていくものです。とにかく自分でやってみること、そして、わからないときや困ったときには、黙っていないで意思表示すること、この二つを心がけましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。「例年通り」ということが通用しない生活が続いていますが、教職員一同、お子様の健康・安全を第一に考えながら、楽しく充実した学校生活を送れるように心を合わせ、知恵を絞って教育にあたりたいと考えます。ご理解・ご協力をお願いすることも多々あると思いますがよろしく願いいたします。気になる点、またご心配な点等は遠慮なく学校までお知らせください。ご家庭と学校が連携し、子どものために目指す方向を同じにして共に歩んでいけますようお願いいたします。

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。皆さんも新入生と同じように、それぞれに決意を新たにして、新しい学年で、新しい自分への挑戦をしていく気持ちに満ちていることでしょう。今日のこの気持ちを忘れずに、時々自分を見返しながら前へ進んでいってほしいと思います。

小海中学校 111名の皆さんへ、中学校生活で大切にしてほしいという願いを二つ話します。

一つ目は「チャレンジしよう」ということです。これからの日々の中で、今まで経験しなかったことや辛いことにも向き合えなければいけない時が誰にも訪れます。経験のないことをするときには勇気が必要です。しかし、やる前から、尻込みしたり、すぐにあきらめたりすることなく、チャレンジしてみましょう。一生懸命やってもうまくいかなければ、そこでまたどうすればいいか考えればいいのです。一生懸命やっていたら、必ず周りの人たちが応援してくれます。勇気を出し知恵を絞って挑戦していきましょう。

二つ目は、自分がやってみたり、実際に確かめたりしたことを大切にしてほしいということです。例えば「誰々があなたのことを悪く言っているよ」などと言われ、悲しくなったり怒ったりして友だちとの関係が悪くなってしまうことがあります。でもよく考えてみてください。それは自分で実際に聞いたことですか。直接言葉を交わして話をしたことでしょうか。不安や心配に一喜一憂するのではなく、自分の目や耳、言葉、そして心を一っぱい使って、自分が本当に納得できることをたくさん発見しましょう。それが、今よりももっと素敵な自分や、周りの人との温かな関係を築くことにつながり、楽しい学校生活を送ることができると思います。

小海中学校 111名の生徒の皆さんが、豊かに成長できますことを祈念して式辞といたします。

令和4年4月6日

小海町北相木村南相木村中学校組合立小海中学校長 小坂寿樹



新入生代表 井出劉聖さんの新入生の挨拶

本日は私たちのために素晴らしい入学式をしていただきありがとうございます。

私たち39名は希望に胸を膨らませ輝かしい伝統と歴史のある小海中学校へ今日入学いたしました。

今、私たちは新しい環境で、新しい友を得ました。

出身校はそれぞれ違っていますが、お互いに力を合わせ友情を深めていきたいと思ひます。

今日の感激をいつまでも忘れず、小学校で学んだことを元にこれからの中学校生活を頑張っていきたいと思ひます。先生方、上級生のみなさん、どうか私たちをよろしくご指導ください。

令和4年4月6日

小海中学校 新入生代表 井出劉聖

在校生からの祝辞 白川怜央さん

暖かな春の日差しが何より嬉しい季節となりました。今日、この良き日に小海中学校の生徒となる39名の皆さんご入学おめでとうございます。私たち在校生一同は皆さんの入学を心より歓迎しています。

緊張した面持ちで小海中学校の門をくぐった皆さんは新たな中学校生活へ期待に胸を膨らませていることと思ひます。その一方で不安な気持ちも沢山あることでしょう。しかし、それは自分だけでなく今隣にいる新しい友達の誰もが感じていることです。私たち在校生も入学したときは皆不安を抱えていました、ですから新入生の皆さん、心配しないでください。皆さんは小海中学校の仲間です。分からない事や困ったことがあった時は先生方や2・3年生に遠慮なく聞いて下さい。そして私たちと精一杯より良い小海中学校を創り上げていきましょう。

中学校では清流祭やクラスマッチなど様々な行事があります。清流祭は9月に開催され、各学年の発表やクラスが団結し協力して行う体育祭、音楽祭があります。一日でも早くクラスの人との絆を深め充実した清流祭にしましょう。また、小海中学校では地域に貢献できる活動も行っています。例えば毎週水曜日にアルミ缶収集を行い貯めたお金で車椅子などを買い清流祭で地域の施設に贈っています。この活動も全校が力を合わせて行うものです。ぜひ皆さんも、アルミ缶を持ってきて協力をし一緒に盛り上げていきましょう。

そしてもう一つ中学校には「部活動」があります。皆さんの中にも楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。まもなく部活動見学、仮入部が始まります。是非自分自身で3年間頑張りたい部活を決めて日々の生活と両立して活動できるようにしましょう。勉強と部活動の両立は簡単ではありません。その両立までの苦しみを越えた先に部活動の楽しみがあると僕は思ひます。

中学校生活の3年間は思った以上に早く過ぎ去ってしまいます。だからこそ、仲間と過ごす一日一日を大切にしてください。みなさんが一日も早くこの小海中学校に馴染めるように応援していきたいと思ひます。私たちと一緒にすばらしい小海中学校を築き上げていきましょう。これで祝辞とさせていただきます。

令和4年4月6日

在校生代表 白川怜央

この春から小海中に赴任した10名の職員です。よろしくお願いいたします。

長谷 義博 (教頭) 東御市立北御牧中より	畑 和弘 佐久市立浅科中より
根津 彩香 安曇野市立穂高東中より	宮澤 仁美 佐久市立浅間中より
若林 邦生 軽井沢町立軽井沢中より	羽場 登和 新規採用
井出 弥生 佐久市立野沢中より	二ノ宮美国 佐久穂町立佐久穂中より
川上 琴子 新規採用	コーウィン・シンデア アメリカより

部活動で頑張る姿

部活動とは自分で決めて選んで入り、入ったからには多少の苦しみや辛さを乗り越えながら日々を送るものです。これは、就職と少し似ていますね。入る前は楽しそうなイメージが大きく、でもいざ始めてみると楽しいことばかりではないところなんてまさに「仕事」とそっくりです。それに、歯を食いしばって頑張っていると徐々に上達してそれまで気づくことができなかつたやりがいにも気づくことができます。

これも「仕事」とそっくりですね。あまり書くと、入部する前から気が重くなってしまいそうなのでこのくらいにしておきたいと思いますが、自分で決めて入って、楽しいことばかりではないけれど、とことん打ち込むとやりがいも見えてくる、それが部活だと思います。



5月の予定 < 4月~8月末まで部活動下校18:10 水曜日は原則15:10です。 >

- 5月 10日 (火) 情報モラル講演会
- 5月 11日 (水) 12日 (木) 尿検査①
- 5月 16日 (月) 小中連絡会
- 5月 23日 (月) ~31日 (火) 教育相談旬間
- 5月 23日 (月) ~6月10日 (金) 教育実習
- 5月 24日 (火) 1年歯科検診
- 5月 31日 (火) 2・3年歯科検診

「自学自習」 「思いやりの心」



校長の願い **共に学ぶことが楽しい、明日も来たくなる、活気あふれる学校づくりをめざします。**

- 問いを大切に、対話を通して互いの考えを深め合う授業を実践して、一人一人に確かな学力をつけます。
- 互いの人権感覚を磨き、いじめや差別を許さない、見逃さない、安全で安心な学校づくりを進めます。
- 地域と連携し、ふるさととのことをもっと知りたいたい、心を寄せたいと願い、自ら行動する姿を育みます。

生徒の願い

令和4年度生徒会スローガン

花

**挑戦という種をまき
成功という大輪の花を咲かせよう**

【三役の抱負】

- 一人一人が協力していける生徒会に！
- 会員同士の仲が良く、協力し合える生徒会に！
- いろいろな事に挑戦していける生徒会に！

小海中STYLEの学びへ

「共に学ぼう 自ら学ぼう」

～確かな学力～

生徒同士が必要感のある**対話**を通して、
思考力・判断力・表現力を高めていく授業をめざします。

- 授業改善の日常化、シラバス・評価研究、NRT・NINOの活用
- ICT・デジタル教科書活用と職員研修（信大ICT研修）・視察
- 学力向上委員会とICT教育推進チームの連携
- 3 Aタイム (AD・AT・Asagaku) の充実と学習習慣の向上
- 中学校区3小学校・保育園、南佐久小中高との連携

ひと 全校生徒 111名 笑顔で一生涯
学校を支えてくださる地域の方々
もの 千曲川 ハケ岳 標高880m JR小海線
国道141号線
こと タブレットPC・電子黒板…ICT環境充実
小海町・北相木村・南相木村の組合立
創立40周年目 長野県一長い校名

★ミッション①

相手を意識した表現力の育成

「伝えたい!」「もっと知りたい!」

あらゆる教育活動の中で**OUTPUT**

書く・話すを軸に「提示」「発表」「説明」

「意見交流」「発信」の機会充実

→ そのための

- ICT機器の活用・授業展開・単元展開
- 評価と見とけ・清流の時間・特活・行事

★ミッション②

学びの改革実践校3年目の推進

☆STUDY NOTE10・Teams・Forms を活用

した授業実践・交流活動充実・校務推進

☆中学校区【小海小・北相木小・南相木小・本校】

Learning Highway Through ICT 推進

「ふるさとをもっと知ろう 心を寄せよう」

～地域との連携～

教科学習・清流の時間・生徒会活動等で、地域の方々との交流や

対話により、**ふるさとに学ぶ機会**を大切にします。

- アルミ缶収集、福祉施設訪問、駅ボラ、職業体験学習 等
- 地域巡回学習、北ハケ岳トレッキング等の校外学習、修学旅行
- 保小中高の交流・連携
- 小海町高原美術館と連携した授業や活動
- 学校運営委員会<コミュニケーション>における情報共有

対話で みっける!?

学びに向かう力・人間性
未来の状況にも対応できる力
思考力・判断力・表現力
生きて働く知識・技能

「いっぱい話そう 学校を楽しもう」

～豊かな人間関係～

学級活動・生徒会活動・部活動等で、生徒同士の

対話による**心が通い合う場**を工夫します。

- 対話・討論集会、全校レク・音楽集会、部活ミツガ 等
- 小6中身体験、3小学校の児童会と生徒会との交流活動
- アセス調査・アンケート・相談箱等を活用した教育相談
- 道徳、人権教育の充実
- 双方方向オンラインコミュニケーションツールの活用